

## 第2回 自主研修会（若手）

6月18日（木）に、早月中学校の中瀬先生と北加積小学校の松岡先生を講師に迎え、「クラス会議」についての研修を行いました。本研修では、中瀬先生、松岡先生の指導の下、参加者で実際にクラス会議を体験しながら、クラス会議のポイント等について学びました。研修の内容について共有します。

### （1）クラス会議のポイント

- ・クラス会議をする理由＝様々なことを、子供達に納得させて進めるため。
- ・「子供が決める」ことを最大限に重視する場
  - 大人からしたら「イマイチなやり方（決定）だな」と思っても、決まったことはやらせてみる。
  - 次回のクラス会議で振り返り、修正すればOK、と考える。

### （2）クラス会議の進め方

#### ① 輪になる

- ・全員の顔が見えることが大切。
- ・中心から全員が等距離にあることで、全員が対等な立場であることを示す。
- ・「おはし」を大切にす。スキルなので、きちんと身に付けさせる。
  - 「お」＝思いやりをもって
  - 「は」＝はやく
  - 「し」＝静かに

#### ② コンプリメントを交換する

- ・一人一人がハッピーに感じたことを発表する。
  - 目的：クラス会議を肯定的な感情からスタートする。
- ・名称はクラスで考えてOK。
- ・輪番制の場合、トーキングスティック（ぬいぐるみ、棒状の物等）を使う。
  - ※ トーキングスティック＝発言者の目印。
    - 使用する目的－いちいち立たなくてもよいようにする。
    - －トーキングスティックを持っていない子が割り込むことを防ぐ。
    - 発言の機会均等を保障する。

- ・コンプリメントでは、出来事よりも自分の気持ちを表現できるようにする。
- ・言いにくい場合はパスをしてもOK。ただし、「パスします」と丁寧に言う。

#### ③ 前回の解決策を振り返る（今回は省略）

- ・クラス会議では、決まったことを1週間取り組む。
  - 取り組んでみてどうだったかを、次のクラス会議で振り返る。

④ 議題を提案する

- ・議題は、クラス全体に関わるものでも、個人のものでも可能。
- ・議題の集め方：教室に議題箱を設置する、ロイロノートを使う、先生に相談する等
- ・提案者にどのような解決を望んでいるかを確認する。  
(例) クラスのルールを作ってほしい、アドバイスが欲しい、とりあえず何とかしてほしい、等
- ・議題の内容が確認できたら、議題についての質問を受け付ける。

⑤ 話し合いをする

- ・時間を決めて話し合いをする。
- ・「近くの人と話をしても OK」「班を作る」等、話し合いの形をその時々で設定しても OK。
- ・一定時間話し合いをしたら、輪の形に戻って、解決策を発表する（1 周回す）。  
→解決策について質問をし合う。  
→解決策に対して「賛成」「心配」を、理由と共に表明する。
- ・質問や「賛成」「心配」を表明する中で、情報を整理し、「今回の話し合いでは検討しない（除外する）」ものが出てきても OK。
- ・意見交換が落ち着いたら、提案者に解決策を決めてもらう。

⑥ 決まったことを発表する

- ・1 週間取り組むことを全員で確認する。

⑦ 先生の話聞く

- ・会の最初に今回のクラス会議の目当てを伝えた場合は、振り返りを行う。

(3) 最後に…

- ・いきなりクラス会議を行うのは難しい。クラス会議を始める前にスキルを身に付ける 5 時間がある。
- ・司会や初期の役割について、最初は教師が担うが、徐々に子供達に委ねていく。
- ・クラス会議の効果（「ポジティブなしつけの場」「温かな学級集団づくり」等）を最大化するためには、教師の姿勢（傾聴、人を傷つけない言い方、罰しない解決方法等）が大切になる。

6 参加者の感想（一部）

- ・よい勉強になりました。すべては真似できなくてもエッセンスは取り入れたいなと感じました。
- ・輪の形になることは、自分も同じ立場の一員として実感するのも良い方法だと感じました。クラス会議を行っていく上で暖かい雰囲気重要だと思うので、普段の学級作りから自分の意見を受け止めてもらえるという温かな雰囲気作りを心掛けていきたいと思いました。
- ・実際にクラス会を行って頂いたことで、子供達がどのように話したり、流れがどのように進んだりするのかを知ることができました。ありがとうございました。私も行ってみたいと思いました。
- ・クラス会を輪になってしてみたいと強く思い、実際に取り入れてみます！ありがとうございました！

## 7 当日の様子



